

令和6年度行政評価 施策評価シート (令和5年度実績)

施策名 医療体制の充実

施策コード 5040403

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 健康推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり (支え合い・福祉・健康)	節 第4節 健康・医療
	施策	医療体制の充実	

基本方針

- ・かかりつけの診療所や開業医（一次医療）と手術や入院治療を中心とする医療機関（二次医療）との連携の充実に努め、地域全体で継続的かつ効果的・効率的な医療を提供できる体制を推進します。
- ・母子医療や救急医療体制の維持に努め、安心して医療を受けられるための支援を行い、健康を支える環境づくりを推進します。

現況と課題

- ・身近でのかかりつけ医と手術や入院治療を中心とする医療機関（二次医療）との連携や地域全体での効果的・効率的な医療の提供が必要です。
- ・医師が偏在する中、安心して出産・子育てができる母子医療の確保が必要です。

施策目標

対象（誰を、何を、どこを）
市民及び医療圏住民

意図（どのような状態にしたいのか）
泉州南部の初期救急、二次救急、周産期医療体制の充実を図る。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	65.3						
重要度（偏差値）	72.0						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	R4決算	R5決算				
	事業費	千円	5,814	5,956				
	フルコスト		132,204	129,253				
財源内訳	フルコスト		138,018	135,209				
	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		73,791	66,599				
一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		64,227	68,610					
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		58,413	62,654					

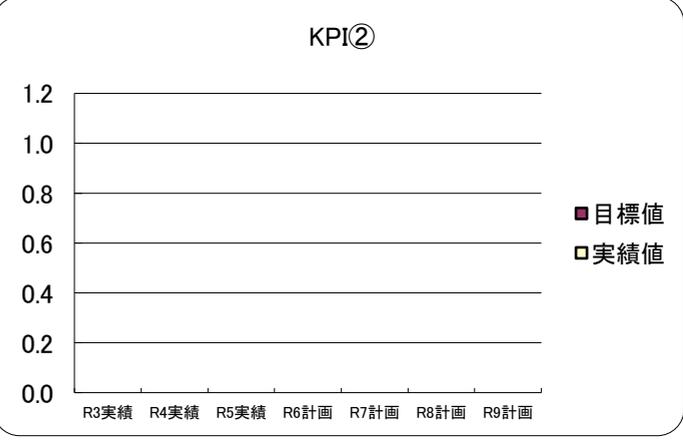
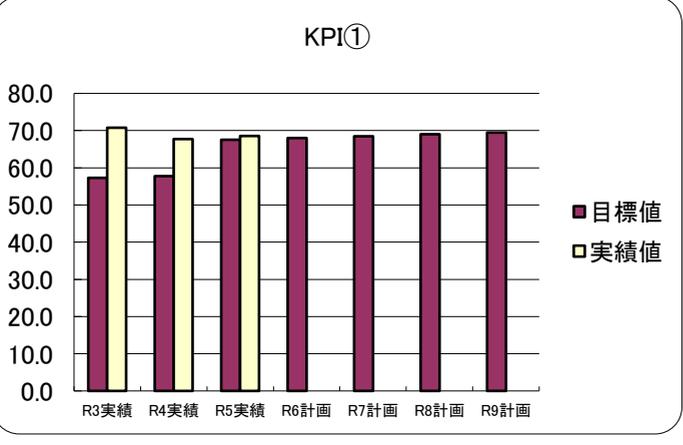
5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 紹介率（りんくう総合医療センター）							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	57.3	57.8	67.5	68.0	68.5	69.0	69.5
実績値	70.8	67.7	68.6				
達成度	123.56	117.13	101.63				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
紹介率は、他の病院又は診療所からの紹介でりんくう総合医療センターを受診した患者の割合を示す指標。この指標により地域と連携した医療体制が充実されているかが分かる。		りんくう総合医療センターの中期計画等を踏まえて算定。			様々な情報の共有を図り、地域病院、診療所との連携を強化している。新型コロナウイルス感染症の診療体制確保のため予約外診察の制限及び患者自身の診察自粛により初診患者数が減少したが、R2年度～R5年度までR元年度と比較し順次、紹介患者の割合は上回っている。		

② KPI 2							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

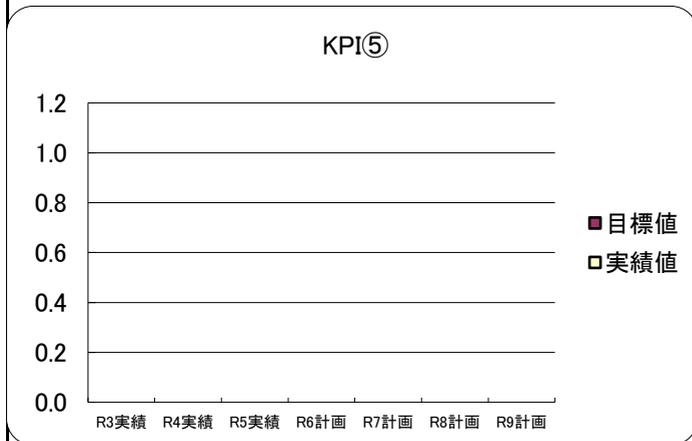
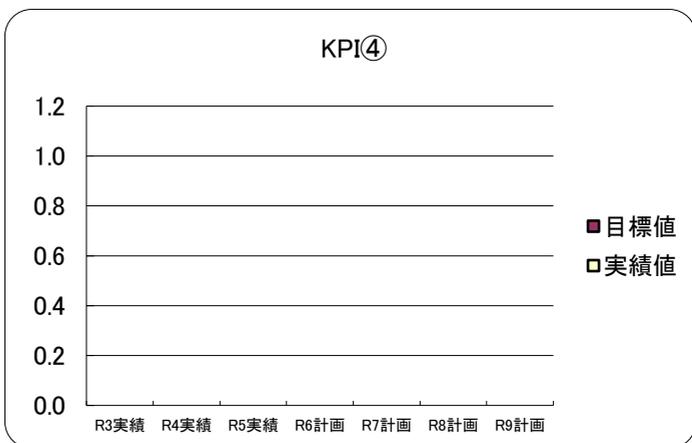
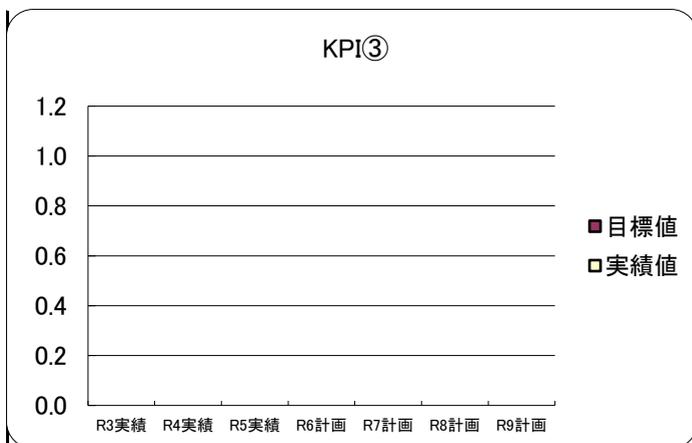
③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		



図表



6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	りんくう総合医療センターは財務や医療職の人材確保など運営に課題はあるものの、その解決に取り組みながら、医療水準の向上に努めている。休日夜間診療については、特に小児科医の確保が困難になってきているが、各機関の協力を得ながら、規定時間の診療を確保できたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度、R3年度の受診者は激減したが、R4年度は微増し、R5年度はコロナ禍も落ち着き大幅に増加した。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	必要性の高い施策であると考えられ、救急を含めた地域医療体制が確保された。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	休日夜間診療においては、医師不足により現状の運営体制を維持するのも困難な状況にあるが、医師会、近隣の中核病院等とも連携を図り、医師確保していく必要がある。H26年度にりんくうタウンに泉州南部初期急病センターを移設。一次・二次・三次救急医療の体制強化を図っていく。
	合計点	(10点中) 10点	
	総合評価	A	りんくう総合医療センターは、厳しい経営環境に置かれながらも、地域医療の拠点として、地域の医療機関等と連携強化を図り、高度医療を提供している。また、泉州南部初期急病センターは、地域の初期救急拠点としての役割を担うが、協力医師の確保、平日夜間の診療開始が課題であり、今後体制強化に努めていかなければならない。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		A	市民アンケートH30との比較で重要度、満足度とも引き続き高いものである。この評価シートに地域医療を概括しうる指標などを導入する必要がある。
三次評価 (理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		A	

7. 施策を構成する事務事業

事務事業			R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01027100	地域医療推進事業	326	49,526	49,526	0	B
2	01027110	泉州医療圏二次救急医療対策事業	163	3,932	3,932	0	B
3	01083070	初期急病センター運営事業	3,264	70,052	3,469	0	B
4	01083080	初期急病センター施設管理事業	2,203	5,743	5,727	0	B
合計			5,956	129,253	62,654	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030504030	予算コード	01027100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	地域医療推進事業	健康推進課	市単独事業	正規職員数 0.04 嘱託職員数 0 臨時職員数 0 歳出(千円)	国庫支出金 0 府支出金 0 市債 0 その他 0 一般財源 49,852 減価償却費 0 事業費 49,526	有効性 効率性 妥当性 受益者負担	B 該当なし B 該当なし	社会環境の変化に伴い、医療ニーズも刻々と変化し、それに応え得る供給体制を整備しなければならない。市民に対し、安定した医療を提供するためには、技術研究や人材の育成等を更に進めていかなければならず、引き続き、地域医療推進の中心的役割を果たす医師会等関係団体を支援していくこととする。	事務事業実施内容	
根拠法令等	泉佐野市地域医療研究費補助金、泉佐野市看護師養成費補助金、泉州広域母子医療センターの運営に関する覚書及び協定書			人件費総額 326						
事務事業類型	運営事業	実施手法	補助・負担	フルコスト(千円)	49,852	緊急性	C			
対象	対象数	活動指標	R5実績	市民1人当たりコスト(円)	503	公的関与	A			
特定の団体	対象数	看護学校生徒定員	120.0	泉州広域母子医療センター負担金分担市町の総人口	355,575.0	実施主体・委託化	A			
事業の内容	泉佐野泉南医師会、泉佐野泉南医師会看護専門学校、泉州広域母子医療センターへの事業補助金(負担金)の交付					他の事務事業との関連	A			
成果指標	R5実績	透明性	B							
看護学校生徒数	125.0	財政健全化計画	該当なし							
泉州広域母子医療センター負担金分担市町における分娩数	573.0	財政健全化の取組	該当なし							
コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし							
事業の目的	各団体へ事業補助金及び負担金を交付することで円滑な運営の促進を図る。									

事務事業コード	030504040	予算コード	01027110	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	泉州医療圏二次救急医療対策事業	健康推進課	市単独事業	正規職員数 0.02 嘱託職員数 0 臨時職員数 0 歳出(千円)	国庫支出金 0 府支出金 0 市債 0 その他 0 一般財源 4,095 減価償却費 0 事業費 3,932	有効性 効率性 妥当性 受益者負担	A B B 該当なし	慢性的な医師不足やその他の要因により、救急医療体制の維持が困難になってきている。初期救急で対応できない患者にとっては、二次救急医療体制はなくてはならないものであり、行政は、協力医療機関を継続して支えていかなければならない。	事務事業実施内容	
根拠法令等				人件費総額 163						
事務事業類型	運営事業	実施手法	市直営	フルコスト(千円)	4,095	緊急性	A			
対象	対象数	活動指標	R5実績	市民1人当たりコスト(円)	41	公的関与	A			
不特定の市民	対象数	病院群輪番制運営病院数	20.0	小児救急医療病院数	8.0	実施主体・委託化	A			
事業の内容	高石市から岬町までの8市4町の泉州医療圏で分担し、医療機関に対し二次救急医療対策事業運営費補助金を交付し、救急医療対策の確保を行う。(救急医療体制・・・初期救急医療：外来診療によって救急患者に対応する。二次救急医療：入院治療を必要とする重症救急患者に対応する。三次救急医療：二次救急では対応できない重篤な救急患者に対し高度な医療を提供する。)					他の事務事業との関連	A			
成果指標	R5実績	透明性	C							
病院群輪番制病院運営日数	439.0	財政健全化計画	該当なし							
小児救急医療病院運営日数	439.0	財政健全化の取組	該当なし							
コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし							
事業の目的	泉州地域の救急医療の確保。									

